

令和2年度 施策評価シート

■第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち			
	1 町民のための行政経営のまちづくり			
施策名	(2) 簡素で合理的な行政運営の強化			
施策コード	4-1-2	施策構成	21 事務事業	決算額 481,444 (千円)

■目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	町民のニーズに応えた行政運営が行われていると思う町民の割合	%
②	客観指標	第5次粕屋町総合計画前期基本計画における指標の進捗割合(経営政策課)	%
③			
④			

アウトカム／成果目標の進行管理										
	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	19.2	24.4	26.4	23.6	26.0	—	↗	—		
②	—	12.2	22.0	22.0	24.4	23.7	100	24%		
③										
④										

■施策における総括

前年度までの課題	新型コロナウイルス感染症対策を鑑み、審議会や町民参画のワークショップ・シンポジウムの在り方について検討する必要がある。行政評価における評価項目や指標の見直し、事務事業の再編を行うことで、より簡潔で分かりやすい制度設計を行う必要がある。国勢調査では調査員が活動しやすい環境を整備し、調査員の確保に取り組む。
今年度の取り組み(成果、効果)	総合計画後期基本計画の策定にあたり、オンラインシンポジウムを開催するなど新しい取り組みを行った。事務事業を再編し、行政評価においてロジックモデルを導入したことで、従来手法より職員の負担軽減、コスト削減が見込まれる。人的要因によるセキュリティインシデントが発生しており、職員への啓蒙とセキュリティ意識向上を要する。
次年度以降に改善すべき課題	計画と深い関わりをもつSDGsへの理解を深めるために職員研修を実施する。行政評価の実効性をさらに高めるための工夫が必要である。情報セキュリティ職員研修等を実施し、人的要因によるインシデント発生を防ぐ必要がある。自治体DXIについて推進体制を含めた検討を行う必要がある。

■総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
	①着実に取り組まれており評価できる。		①計画以上に進んでいる。
○	②取り組まれているが、まだ改善の余地がある。		②計画どおり順調に進んでいる。
	③取り組みが不十分であり対策が必要である。	○	③進んではいるが、スピードが遅い。
	④取り組みがなされていない。		④進捗が見られない、または後退している。